

2

ただ“好きだから”というだけでは、
プロにはなれないプロeスポーツプレイヤー
ノビさん

ノビ

1991年生まれ。東京都出身。プロのeスポーツ選手であり、日本最強ともいわれる「鉄拳」のトッププレイヤー。世界的な鉄拳の大会である『MASTERCUP』で、3連覇の記録をもつ。選手として活躍すると同時に、インストラクターとして指導も行っている。

1 コンピューター対戦には自信があったのに、
大人に挑戦したらボコボコにされたことで、のめり込んだ!!

わたし自身の子ども時代は、どちらかというとワンパク坊主で、外を飛び回って遊ぶタイプでした。ただ、小学校低学年の時から、週末になると親がゲームセンターに連れて行ってくれるので、そこでアーケードゲームで遊ぶ楽しさも覚えました。

その後、学校の友だちとも、家庭用ゲームで一緒に遊ぶようになりましたが、当時はゲームにのめり込むということはあまりなく、どちらかというと友だちとのコミュニケーション・ツールみたいなものでした。一緒にゲームをしていれば楽しかったし、ゲームの話題で盛り上がることもありましたが、

実は、アーケードゲームの「鉄拳」との出合いは、中学3年生の時でした。当時、高校受験を控えて塾通いをしていましたが、ある時、塾をさぼってゲームセンター

に行ったら、たまたま「鉄拳」の大会が行われていました。そこではじめて「鉄拳」を見たんですが、そのゲームのリアルさに圧倒されて、とても感動したことを今でも覚えています。

どうしてもやってみたくて、実際にやってみました。最初はコンピューターとの対戦だったのですが、結構勝てちゃって(笑)、これはイケる! と思って、大人との対戦に挑戦しました。ところが全然勝てない。ボコボコにされてしまうんです(笑)。それが悔しくて悔しくて、もともと負けず嫌いの性格だったこともあり、そこから「鉄拳」にのめり込むようになりました。



「鉄拳」は数ある格闘ゲームの中でも難しいほうだ。
(『EVO2019』に出場した時のノビ選手)

2 地元でのナンバー1では満足できず、
日本一、世界一を目指すようになった

時々、塾をさぼって、こっそりゲームセンターに行ったりはしていたのですが、勉強は勉強できちゃんとやっていましたから、なんとか第一志望の高校に合格できました。高校ではサッカー部に入っていたんですが、「鉄拳」もやり続けていました。

自分でいうのもなんですが、わりと研究熱心なタイプなので、どうやれば勝てるか、みたいなことをいつも考えていて、ちょっと思いついたことは実際にゲームで試してみて、ということを繰り返しているうちに、いつの間にか地元のゲームセンターでは無敵になっていました(笑)。

そして、新宿のあるゲームセンターが「鉄拳」の聖地といわれ、全国から強いプレイヤーが集まるということを知って、そこへ遠征するようになりました。ところが、その聖地では、わたしなんかはヘタクソ扱い

です。順位でいえば最下位くらいです。その悔しさをバネにして、もっともっと「鉄拳」で強くなりたい、日本一、いや世界一になりたい、と思うようになりました。

